

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

○法人名：株式会社ルネサンス棚倉

○経営健全化方針を策定した理由：

平成30年度債務超過額が171,573千円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額 (千円)	208,225	262,528	278,825	0
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額 (千円)	0	0	0	0
損失補償、債務保証 及び短期貸付けの 合計額(A) (千円)	310,000	70,000	50,000	100,000
標準財政規模(B) (千円)	4,454,497	4,756,148	4,554,940	—
実質赤字比率 (%)	—	—	—	—
(A)／(B) (%)	7.0	1.5	1.1	3%未満

○主な取組状況（令和5年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・少人数でも宿泊処理できるよう売上管理システムを変更し、料飲部門においては、社内全スタッフが機動的に運営できる体制を整え、繁忙期においても短期契約社員を雇用せずに運営にあたった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による売上減のなか、光熱費・人件費・業務委託費の節減を進め、設備管理・清掃業務を自社スタッフで実施するなど、作業工程を見直して省力化する体制を作り、経費削減に取り組んでいる。
- ・これまでの紙媒体の営業からユーチューブ広告などの効果的な Web や動画ツールを活用した営業へシフトし、DX化に取り組んだ。
- ・物価高騰やエネルギー価格の高騰により経費削減効果が薄まっているが、経常損益が前年度比 37,997 千円と大幅に改善した。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・毎月 1 回実施している連絡調整会議において、毎月の目標に対する実績の点検・評価や企画内容等について提案するなど助言等を行った。
- ・公益財団法人日本ソフトテニス連盟の拠点施設「テニスパーク棚倉」で実施される日本代表等による合宿や各種大会で、年間約 2,000 泊程度見込まれる。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
資産総額	178,979	233,195	194,210
（うち現預金）	125,581	184,208	131,730
（うち売掛金）	4,695	3,412	15,665
（うち棚卸資産）	2,042	2,262	3,031
負債総額	387,204	495,723	473,035
（うち当該地方公共団体からの借入金）	120,000	140,000	136,000
純資産額	△208,225	△262,528	△278,825

（損益計算書から）

（単位：千円）

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
売上総利益	82,023	111,148	163,312
販売費及び一般管理費	246,720	242,987	242,434
経常損益	△70,759	△54,110	△16,113
当期純損益	△72,255	△54,303	△16,298